

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	御殿場市営住宅の長寿命化及び安全性・居住性の向上（地域住宅計画）
②都道府県名	静岡県
③計画作成主体	御殿場市
④計画期間	平成23年度～27年度
⑤計画の目標	団地別・住棟別に現状の把握を行い、状態に見合った適切な維持管理により、住環境の向上と、ニーズに合った住宅を提供することで、安全でゆとりのある住まいを実現する。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	御殿場市において評価
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「耐用年数が長く、今後長期間管理すると思われる耐火構造の市営住宅について、バリアフリーなど入居希望者のニーズに合った改善の推進」 定義：昭和47～55年に建てられた中層耐火構造を対象とした住戸改善率 評価方法：事業実施に基づく数値 結果：従前値:0%（23年度）⇒目標値:100%（27年度）⇒実績値:100% 結果の分析：対象の団地において公営住宅ストック総合改善事業を計画通り進められたことから、目標通りの結果が得られた。</p> <p>指標②：「50年以上経過し、老朽化が進行している準耐火構造の住戸がある団地の建て替え」 定義：平成22年において昭和35年以前に建てられた準耐火構造の建物がある団地を対象でその建て替え率 評価方法：事業実施に基づく数値 結果：従前値:0%（23年度）⇒目標値:100%（27年度）⇒実績値:0% 結果の分析：御殿場市営住宅等長寿命化計画の5年経過見直しに伴い、建替え事業を優先的に推進すべき住宅の選定を行った結果、建替え対象団地の見直したため事業進捗率は0%となった。</p>
⑧結果の公表方法	ホームページ
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<p>今後も御殿場市営住宅等長寿命化計画及び次期社会資本総合整備計画に基づき、既存の住宅を長期間使用できるよう維持修繕及び建替え事業を進めていく。</p> <p>1) 次期社会資本総合整備計画 御殿場市営住宅の長寿命化及び安全性・居住性の向上（地域住宅計画）</p> <p>2) 計画期間 平成28年度～32年度</p> <p>3) 目標値 ①昭和64年以前に建てられた中層耐火構造住宅の長寿命化対策実施率 ⇒100%（対象棟数 7棟） ②50年以上経過している団地の建替え率 ⇒100%（対象団地 上栄団地）</p>
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。